

Yell

～絆を深めて Keep Smile～

第142号 令和3年2月26日（金）

熱いハートの5年生、行事も授業も120%！



「こんな風に貼ればいいんじゃない？」「この間隔で歩いてみよう。」
6年生を送る会に向けて、準備も最終段階に入りました。5年生の子ども達は、担当のグループに分かれて準備を進めています。



「いやあ、黄昏だねえ。」

運動場を眺めているのではありません。これは6年生に喜んでもらうための、ある企画です。5年生の子ども達は、純粋な気持ちで6年生のために一生懸命がんばっています。優しさや思いやりの心があふれた集会。1週間後、6年生の喜ぶ顔を見るのが楽しみです。



「うまいければいいね。」

今年度は、一部オンラインでの開催になります。子ども達は担当の先生と一緒に、画面の前でゲームの練習をしたり、司会の練習をしたりしています。よりよい集会にしようと腕組みをしながら、試行錯誤する担当の先生。初めての試みですが、とにかくチャレンジしよう、という発想が新たな発見をもたらします。



「やったあ、開いた！これで6年生が喜ぶぞ！」

喜びにあふれる教室。担当の子ども達がくす玉を割ることに成功しました。6年生のために、全力投球する5年生の子ども達。一人一人の純粋な眼差しこそ、黒崎中央小学校の大きな財産です。

こんな熱い担任の先生は、日々の授業でも全力投球！！



「〇〇と考えるといいのではないですか？」「なるほど～！」

こちらは算数科の学習の様子です。担当の佐伯先生は、冷静を保ちつつ、子どもが「やってみたい」と思う学習を展開するのがとても上手です。ここでは、どうしても我慢できなくなった子どもが、前に出て説明をはじめました。学び合いながら高める学習を通して、算数科がより楽しくなるように工夫されています。



「え？なあに？」

社会科の学習中、担当の宮本先生は子ども達の発言やつぶやきを聞き、まるでバトンのようにつなぎながら楽しく授業を展開します。子ども達は、自然とつぶやきたくなってきます。こうして視線を集中させることで、教室中が明るく活気に満ち溢れています。



「とにかくやってみよう！」

担当の河堂先生は、子ども達に体験させることを大切にしています。この日は何と、Power point（プレゼンテーション）を使って、国語科の紹介資料をまとめていました。この真剣な眼差しは、10年後、新商品の開発に向けて切磋琢磨する姿になるかもしれません。